

4 施設普及事業

博物館の活動を広く市民に知ってもらうため、リーフレットや博物館ニュース『帆檣成林』、年報などの出版物を作成配付したほか、新聞・雑誌等を通じて広報活動を行うとともに、以下の事業を実施し、博物館の利用推進を図った。

(1) 自主事業として実施した展覧会・イベント等

①新収蔵品展・収蔵品展

会 期：平成24年2月25日（土）～3月31日（土）（実開催会期：～4月1日）

日 数：30日間（実開催日数：31日間）

主 催：新潟市歴史博物館

観 覧 料：無料

観覧者数：1,835人（実質 1,886人）

概 要：「新収蔵品展」では、今年度に寄贈いただいた民俗資料・文書資料・メディア資料・美術資料等の中から約50点を選んで展示した。

「収蔵品展」は、当館が所有する資料を市民に公開し、理解を深めてもらうことを目的に実施するもので、今年度は「戦争の記憶」をテーマに収蔵資料から33点を選んで展示した。また、江南区に墜落したB29の破片や出征軍人関係資料などを紹介した。

(2) 共催事業として実施した展覧会・イベント等

博物館の近隣の市民団体や国・県などと連携し、共催で新潟の港や下町のPRを目的に以下の事業を実施した。（今年度は、3月11日に発生した東日本大震災を受け、「堀と柳のコンサート」をはじめ「みなとぴあ歴史たんけん」、「早川掘り通りつつじ祭り」等が中止となった。）

①つなげようプロジェクト in みなとぴあ

日 時：平成23年5月15日（日） AM10:00～PM3:00

会 場：芝生広場 ほか

主 催：つなげようプロジェクト実行委員会

共 催：新潟市歴史博物館，新潟鳥凧の会

協 力：信濃川ウォーターシャトル株式会社，新潟商工会議所

後 援：むす美プロジェクト，新潟県ディスコン協会，新潟市市民活動支援センター，新潟県健康生きがいきづくりアドバイザー協議会，新潟県民謡連盟，こなつカンパニー，まちなか同志隊

参 加 料：無料

参加者数：約1,800人（募金総額 72,656円）

概 要：「新潟でもそれぞれが何かできる」を合言葉に有志が集まりつながって、より多くの人とつながり、支援の輪を広げ、被災地への思いを形にしたいと願う人達がみなとぴあの芝生広場を会場にチャリティーイベントを開催した。イベント開催に当たり、被災地からの避難者を招待したほか、会場に募金箱を設置し、イベントやショップの収益金を日本赤十字社を通じて被災地に送った。

②「新潟みなと水遊記」オープニングイベント及び各イベントへの参加

期 間：平成23年7月16日（土）～9月30日（木）

会 場：芝生広場，信濃川さがん ほか

主 催：新潟みなとまちづくりネットワーク・新潟みなと水遊記2011事務局（構成員として新潟市歴史博物館も参加）

概 要：オープニングイベントとして、万代長嶺小学校の児童による万代太鼓の演奏、当館

館長による開幕宣言などを行ったほか、協賛事業として当館を会場に開催される企画展や各種イベントを”新潟みなの水遊記ネットワーク事業”として、新潟西港区域で開催されるイベントマップ等に掲出した。

③夕涼みコンサート

日 時：平成23年8月20日（土） PM6：00～8：00

会 場：芝生広場（石庫&石庫前芝生広場）

主 催：新潟下町を良くする会、新潟市歴史博物館

共 催：シティプラス越後、新潟葦原吹奏楽団

後 援：北部総合コミュニティーセンター環境整備部

参加料：無料

参加者数：約600人

概 要：「ライトアップされた美しい夜景に包まれて、川風に吹かれながら、家族みんなで音楽を楽しもう！」とのコンセプトで地元団体と共催し、野外コンサートを実施した。（今年は、演奏開始時間前から小雨が降り出し、途中、演奏場所を芝生広場から石庫軒下に変更することとなった。）

④みなの・しもまち・川祭り2011「あかりの饗宴」

日 時：平成23年8月21日（日）

会 場：信濃川旧河道、荷揚げ場、（旧税関庁舎内）

主 催：北部開発協議会青年部、新潟市歴史博物館

概 要：一当日の催事（「あかりの饗宴」）は、雨天のため中止とした—

※地元の子供たちや団体が作成した「灯籠」を旧税関庁舎内に展示した。

（展示期間：8/26（水）～9/1（木））

⑤早川掘り通り納涼感謝祭「ウエルカム盆踊り」

日 時：平成23年8月28日（日） PM6：30～8：30

会 場：芝生広場

主 催：新潟下町・早川掘り通りつつじ祭り実行委員会

共 催：ウエルカム下町推進委員会、新潟市歴史博物館

概 要：昔懐かしい新潟甚句を樽砵の音に乗せて楽しむ盆踊り大会を、当館芝生広場を会場に開催した。

⑥みなのびあ写生会

日 時：平成23年10月2日（日） AM10：00～PM2：00

会 場：博物館敷地内

主 催：新潟市歴史博物館ボランティア、新潟市歴史博物館

概 要：歴史ある建物の風景を講師のアドバイスを受けながら写生し、新潟の開港の歴史を理解する写生会を実施した。

参加料：無料

参加者数：15人

⑦みなのびあフェスティバル2011

日 時：平成23年10月10日（月・祝日） AM10：00～PM3：00

会 場：新潟市歴史博物館敷地内

主 催：新潟市歴史博物館ボランティア、新潟市歴史博物館

参加料：無料

参加者数：多数

概 要：旧税関庁舎塔屋見学会、体験広場のプログラム、下町ガイド（新潟湊のふるさと訪

間)等、みなとびあボランティアスタッフが、大人も子どもも楽しめるプログラムを用意し、みなとびあを会場に1日を楽しむ催しを企画・実施した。

⑧文化財保存新潟県協議会「歴史講演会」

日 時：平成23年11月23日(日) PM1:30～4:30

会 場：セミナー室

主 催：文化財保存新潟県協議会、新潟市歴史博物館

概 要：新潟の遺跡の保存と活用の現状を見直すため、講演並びに調査報告会を開催した。

演題：「にいがたの遺跡公園を歩く～文化財の活用例に学ぶ～」

講師：小林隆幸(当館学芸員)

報告：「文化財に学ぶ市民の運動」

講師：川上真紀子氏(文化財保存新潟県協議会運営委員)

報告：「史跡古津八幡山遺跡の今～最近の調査から～」

講師：甘粕 健氏(文化財保存新潟県協議会会長)

参加料：500円(資料代)

参加者数：定員80人

⑨第3回新潟出土文字資料検討会

日 時：平成24年1月29日(日) PM1:30～5:00

会 場：セミナー室

主 催：新潟出土文字資料検討会、新潟市歴史博物館

概 要：新潟県内から出土した文字資料について学習の機会を作り、研究を深めるため、調査報告会を開催した。

報告：「糸魚川市出土の文字資料について」

講師：山岸洋一氏(糸魚川市教育委員会)

報告：「新発田市出土の文字資料について」

講師：笹澤正文氏(新発田市教育委員会)

講師：浅井勝利氏(新潟県立歴史博物館)

報告：「馬場屋敷遺跡出土の蘇民将来札について」

講師：相澤 央氏(新潟市歴史文化課)

参加料：無料

参加者数：38人

⑩文化財保存新潟県協議会第12回学習会「弥生・古墳講座」

日 時：平成24年3月20日(日) PM1:30～4:00

会 場：セミナー室

主 催：文化財保存新潟県協議会、新潟市歴史博物館

講 師：春日真実氏(新潟県埋蔵文化財調査事業団専門調査員)

演 題：「古墳時代の越後・佐渡の集落と土器」

概 要：会員や市民を対象に歴史や考古学を学ぶ連続学習会の一環として、今回は「古墳時代の越後・佐渡の集落と土器」テーマに講演会を開催した。

参加料：500円(資料代)

参加者数：定員80人

(3) 貸し館の形態で協力した事業・イベント等

① ‘11新潟ロードレース大会

日 時：平成23年4月17日(日)

会 場：博物館敷地内通過
主 催：新潟日報社，新潟市陸上協議協会
後 援：新潟市教育委員会，新潟市体育協会
内 容：信濃川河畔を主なコースとしたロードレースの通過コースとなった。

②湊まち歴史ウォーク2011

日 時：平成23年5月28日（土）
会 場：芝生広場ほか
主 催：湊まち新潟歴史ウォーク実行委員会
後 援：NPO法人新潟みなとクラブ，新潟港湾・空港整備事務所
内 容：平成19年から新潟港の開港140年記念行事として始まり，本年度もテーマを設けて市内の歴史ある史跡を踏査し，港全体の歴史や文化などを理解してもらう事業の視察（集散）会場となった。

③第49回日本現代工芸新潟会展

日 時：平成23年7月2日（土）～7月10日（日）
会 場：企画展示室
主 催：現代工芸新潟会，新潟日報社
後 援：新潟県，新潟市，新潟県商工会議所連合会，（社）現代工芸美術家協会，NHK新潟放送局，BSN新潟放送，NST，TeNYテレビ新潟，UX新潟テレビ21，新潟日報美術振興財団
内 容：列品の解説会，作品展示会，特別展示

④東京税関新潟支署保管証券展示会

日 時：平成23年8月12日（金）
会 場：旧税関庁舎展示室
主 催：東京税関新潟支署
内 容：第二次大戦終戦時に引揚者から預かった通貨，証券類の返還式と返還促進のため，当館で報道向けの公開と一般公開を行なう会場となった。

⑤新潟シティマラソン

日 時：平成23年10月9日（日）
会 場：博物館敷地内通過
主 催：新潟市・新潟市教育委員会・新潟市陸上競技協会・財団法人新潟市体育協会・新潟シティマラソン実行委員会
主 管：新潟市陸上競技協会
内 容：新潟マラソン大会の名称を22年から「新潟シティマラソン」に変更し，榎谷小路，萬代橋をはじめとした市街地や信濃川，日本海など豊かな水辺を走る大会（参加者規模10,000人）が敷地内を通過するコースとなった。

⑥入舟小ふれあいウォーク

日 時：平成23年10月16日（日）
会 場：芝生広場（集合・出発・解散場所）
主 催：入舟小学校区コミュニティ協議会
内 容：秋の1日，信濃川を眺めながらやすらぎ堤から万代島朱鷺メッセまでを折り返す，地元団体によるふれあいウォークの集散会場となった。

⑦第4回「縄文楽検定」

日 時：平成24年3月3日（土）
会 場：セミナー室

主 催：信濃川火焰街道連携協議会（歴史文化課）
内 容：信濃川火焰街道連携協議会主催の第4回「縄文楽検定」の新潟会場（初級・中級）
の受験会場となった。

(4) その他広報・地域連携を目的に、開催を支援した事業・イベント等

①全国良寛会総会 in 新潟

日 時：平成23年5月9日（日）
会 場：ホテルオークラほか
主 催：全国良寛会
内 容：総会後のエクスカーション会場として、新潟市所蔵「飴屋万蔵の看板」を常設展示
室に展示するとともに見学者の受け入れ・解説等を行った。

②えんでこ（まち歩き）

日 時：平成23年6月4日（土）～11月5日（土）（30回のうち7回）
会 場：芝生広場（集散場所）
主 催：中央区地域課
内 容：シティガイドと博物館（みなとぴあ）を出発、市民参加による「まち歩き行事」の
開催を側面支援した。

③第2回にいがた湊まち・しもまち歴史ウォーク

日 時：平成23年6月11日（土）・12（日）
会 場：下町周辺
主 催：新潟県ウォーキング協会，新潟日報社，NST
内 容：参加ウォーカーの立ち寄り先として協力した。

④復元北前船「みちのく丸」入港イベント

日 時：平成23年8月15日（月）～19（金）
会 場：新潟西港信濃川左岸（みなとぴあ上流）岸壁ほか
主 催：「北前船日本海文化交流事業」新潟実行委員会（新潟市，第四銀行，新潟日報社）
協 賛：東北電力
内 容：船内見学会，展帆航行見学会，北前船講演会，北前船来航記念「湊から港へ・新潟
北前船ものがたり」まち歩きツアー等のイベントの集散会場として，また，伊東副
館長が講演会の講師として側面支援した。

⑤きぬがさ小挑灯大竿灯の展示

日 時：平成23年10月25日（火）～24年1月15日（日）
会 場：1階エントランスホール
主 催：柳都わいやらの会
内 容：博物館が収蔵する歴史資料を活用した取り組み事例の紹介を目的に、市民グループ
柳都わいやらの会が江戸時代の新潟祭りで使われていた竿灯を再現しようと制作
した「きぬがさ小挑灯大竿灯（こちょうちんだいかんとう）」をエントランスホー
ルに展示した。

(5) みなとぴあファンクラブ

■目的

- ・博物館の設置目的を理解し，その活動に協力すること。
- ・会員の新潟市の歴史や文化に関する教養を深めること。
- ・会員相互及び会員・職員の親睦を深めること。

■主な事業

- ・常設展及び、博物館主催の企画展観覧料の割引（2割引）。
- ・博物館ニュース等の博物館情報の配布。
- ・博物館主催の展覧会等の解説会の開催。
- ・史跡探訪ツアーの開催。

■年会費等

- ・年会費は600円とし、参加費の必要な事業に参加する場合は、その都度納める。
- ・この会は、毎年10月1日から翌年9月30日までを1年度とする。

■会の発足

- ・この会は、平成19年10月1日からとする。

■平成23年度の活動（4月～3月）等

①ファンクラブ会員の募集

- ・平成23年度 同年10月1日～更新手続・新規会員募集
（会員数140名：24年3月31日現在）

②ファンクラブ通信の発行

- ・20号～25号及び号外を発行

③企画展鑑賞会

- ・実施日：各企画展の開幕日

④館長と行くバスツアー「寺泊・和島方面―越後古代史研究の軌跡をたどる旅―」

- ・実施日：平成23年6月11日（土）
- ・行き先：弥彦村、長岡市寺泊・和島方面
- ・参加費：4,000円（バス代・昼食代・資料代・保険料等）
- ・参加者：34名

⑤まち歩き

1) 第7回 新潟まちあるき「梨島―信濃川と他門川に囲まれた島―」

- ・実施日：平成23年5月8日（日）
- ・行き先：クロスパル～萬代橋西詰～木揚場協会～他門川公園～礎公園～大円寺公園 等
- ・参加費：200円（保険料）
- ・参加者：16名

2) 第8回 新潟まちあるき「流作場をめぐるⅠ（南半分を歩く）」

- ・実施日：平成23年11月13日（日）
- ・行き先：萬代クロッシング～萬代橋東詰五差路～弁天公園～蒙古開拓館のあった郵便貯金事務センター～鉄道管理局のあった総合福祉会館 等
- ・参加費：200円（保険料・資料代等）
- ・参加者：13名

⑥みなとびあファンクラブ「館長講演会」

- ・実施日：平成24年2月12日（日）PM1：30～3：30
- ・会場：セミナー室
- ・演題：「新潟古代史断章―高志国から越後国へ―」
- ・参加費：無料
- ・参加者：28名

5 調査研究事業

市民の関心を呼び起こすテーマの探求や博物館活動の発展のために、日常的に資料を調査した。また、学芸員の専門分野における研究や館活動を通じた資料調査も随時行い、そうした成果は博物館講座を通じて市民に報告・還元するとともに、主なものを『研究紀要8号』にまとめた。

(1) 『新潟市歴史博物館研究紀要』第8号の刊行

博物館の開館までの研究成果と、開館8年目の企画展調査・博物館活動の成果を踏まえて、学芸員が研究論文等を執筆した。

(2) 重点テーマの調査研究

当館の基本テーマである「湊と湊町」「低湿地のくらし」についての調査を重点的に行った。

(3) 重点テーマ研究促進等のための専門図書の収集

本格的な重点テーマ研究等を進めていくため、必要となる専門図書を購入した。

6 資料整理・保存事業

寄贈された歴史・民俗・美術・図書・メディア等の資料を長期的に保存・活用するため、下記の事業を行った。

(1) 保存環境管理

館蔵資料の長期保存のため、展示室やケースなどの展示施設をはじめ、収蔵施設である本館収蔵庫・旧木場小学校、板井保育園等について、各種の保存環境調査や清掃、防虫対策のための燻蒸など、IPMに則った各種の保存環境管理を行った。

また、東日本大震災の被害を受けた地域への文化財レスキューは、関係する博物館や施設との連携を図りながら対応した。

(2) 資料整理

歴史的資料を保存管理していくため、資料情報の調査・記録の運用と資料の養生を行った。

(3) 燻蒸

博物館防虫対策のため、燻蒸を実施した。

◇期間 平成23年6月20日～6月27日の8日間

(4) 受入・購入した資史料等

◇平成23年度 受入 38件

購入 2件

(資料の種類：民具、図書、絵画、歴史資料など)

7 刊行物

(1) 図録

①『”新潟美人”』B5判96頁

(※『発掘された日本列島 2011—新発見考古速報—文化庁(編)』は、朝日新聞出版からの委託販売)

(2) 紀要

①『新潟市歴史博物館研究紀要』第8号A4判56頁

(3) その他

①「博物館ニュース『帆檣成林』vol. 22」A4判8頁

②「博物館ニュース『帆檣成林』vol. 23」A4判8頁

③「博物館ニュース『帆檣成林』vol. 24」A4判8頁